

目次

凡例 3

卷之一

河原綱徳自序／例	言／引用書目	6
矢沢薩摩守頼綱	矢沢但馬守頼幸	8
春原若狭 12	春原惣左衛門幸則	9
木村土佐守綱茂	木村縫殿茂利	12
出浦対馬守昌相	池田長門守重綱	17
望月主水重則	日置五右衛門尉俊経	22
北能登守 27	白倉武兵衛	24
松沢五左衛門	堀田久兵衛	26
高梨内記 29	高梨采女	28
青柳春庵 29	来福寺	28
成沢長左衛門	成沢勘左衛門	29
		30

卷之二

鎌原石見守重宗	大熊備前守朝秀	34
大熊五郎左衛門常光	大熊勘右衛門	36
鈴木主水重家	鈴木右近忠重	37
瀬下若狭 42	小幡将監重信	38
板垣修理亮 43	内藤五郎左衛門	42
小泉源五郎 44	坂卷夕庵貞元	43
木内八右衛門・山遠賀与左衛門		45
吉田政助・富沢主水	山名信濃守	46
窪田莊助 46	柴田刑部	46
原郷左衛門昌賢	塚本治右衛門	47
塚本肥前守 48	塚本左近幸重	48
春原権助 49	横谷左近幸重	49
横谷惣右衛門幸秀・湯本三左衛門		49
斎藤左大夫・依田兵部・山本清右衛門		50
	田口又左衛門	32
	長野舎人	31
	水出大蔵	32

高野車之助 51
樋口角兵衛 52
水科新介盛直 62

小屋右衛門七 52
森 五左衛門 61
舟越五平次 62

卷之三

祢津宮内大輔昌綱 63
祢津長右衛門利直 64
祢津主膳 66
祢津三十郎直方 67
羽田筑後守 71
羽田六右衛門 71
赤澤嘉兵衛経定 72
玉川伊予守秀正・亀子 74
長井四郎右衛門 77
森大学助忠時 78
小川次郎右衛門好安 82
山本八郎兵衛 83
丸子三右衛門 85

祢津伊予守信秀 64
祢津志摩守幸直 65
祢津主水正幸豊 66
恩田越前守能定 70
羽田源太 71
塚原主膳 72
赤澤藤兵衛安経 74
山井大蔵 76
児玉三助 78
和田治左衛門正次 80
伊木彦六 83
山寺佐五左衛門久富 85
河原右京亮綱家 86

卷之一注	丸島和洋	89
卷之二注	丸島和洋	118
卷之三注	丸島和洋	146
解題	丸島和洋	173
参考略系図	丸島和洋	220
編集後記	柴辻俊六	225

凡例

- 一、本書の底本は、河原綱徳自筆の『本藩名士小伝』原本によった。
- 二、翻刻に際しては、原則原本の用字どおりとしたが、旧字は正字に改め、変体仮名は平仮名に改めた。異体漢字については、ほぼ本文どおりに記し、傍注に「」で正字を補った。
- 三、翻刻に際しては、本文の行替えどおりとはせず、送り組とした。また本文中で敬意を現す闕字については、一部を除いて一字空きとした。
- 四、本文中の割書については、本文どおりにポイントを落として割書にした。
- 五、本文を読みやすくするため、適宜改行し、読点と並列点を補記したほか、難訓語と説明注については、（ ）で傍注した。
- 六、内容に関して、地名・人名ほか注釈が必要な用語については、文中に圏点を付し、その説明を注に示した。
- 七、翻刻は卷之一を小川雄、卷之二を柴辻俊六、卷之三を山中きゆりが担当し、注・解題は丸島和洋が担当した。
- 八、注・解題執筆にあたっては、生没年を中心に、適宜年月日を書き記した。
- 九、改名した人物については、基本的に最後に用いた実名で統一した。
- 一〇、真田氏歴代当主の略歴や、注の執筆にあたって参照した史料の解説は、煩雑になるため、解題に一括してまとめた。